

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>1. 令和5年度有明海のアサリ等の育成技術高度化実証事業</p> <p>共同実施機関7社はどのようなプロセスで決定されているのでしょうか。</p>	<p>応札する側が事業を実施するために必要な知見・技術など必要な社を選定したというところだと思っています。</p>
	<p>2. 令和5年度水産基盤整備調査委託事業「有明海水産基盤整備実証調査」</p> <p>(特になし)</p>	<p>—</p>
	<p>3. 令和5年度養殖業成長産業化技術開発事業</p> <p>落札額が昨年度より上がっているのは、何故か教えていただけますでしょうか。</p> <p>具体的にはどのような事業が拡充されたのでしょうか。</p>	<p>事業メニューを拡充し、予算額自体が大きくなっており、合わせて応札額も大きくなってきたということになります。</p> <p>餌代が高騰してきており、それを解決するために、よく成長する人工種苗を開発するという課題に対応する事業を新しく新設したところです。</p>
	<p>4. 令和5年度まぐろ類流通管理データベースの効率化調査及びシステム更改に係る要件定義書作成等業務</p> <p>(特になし)</p>	<p>—</p>
	<p>5. 乗用自動車リース契約</p> <p>(特になし)</p>	<p>—</p>
	<p>6. 令和5年度水産基盤整備調査委託事業「漁村活性化に向けた漁港施設利活用方策検討調査」</p> <p>(特になし)</p>	<p>—</p>
	<p>7. 令和5年度放射性物質影響調査推進事業のうち水産物中の放射性物質の影響調査業務</p> <p>令和3年から4年、5年で契約金額が上がってきているが何か要因はあるのでしょうか。</p>	<p>令和3年4月にアルプス処理水の海洋放出が閣議決定され、水産物の検査数をかなり増やしており、業務量も増えたということが要因となっています。</p>
	<p>8. 令和5年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証事業</p> <p>令和3年度から続けていますが、なかなか実現には至らないのでしょうか。</p>	<p>事業の成果として、人工種苗のウナギから卵を採って、その卵を育てて稚魚にすることに成功していますが、現状、人工種苗を天然種苗と同等なものとして社会実装しようとする、供給可能尾数やコスト面で差があるため、より安価で大量に作れる技術開発を行っています。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> <p>〔これらに対し部局長が講じた措置〕</p>	特になし	
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班		